

中学校 第三学年

組

番

名前

自己採点をして

に○×を書いて、振り返りましょう。

①			
三	一	二	三
次の条件を満たして解答している ① お礼の言葉としてふさわしい内容を書いている ② お礼の言葉としてふさわしい言葉遣いで実際に話すように書いている (※適切な敬語を用いている) ③ 橋本さんが伝えたいことについて、以下の a、b の両方またはいずれかの内容を取り上げて書いている a パンパー全員で力を合わせて一つの作品を作り上げることが書道メンバー全員の魅力であること b a 以外の【橋本さんの話】の内容 ④ 橋本さんの伝えたいことを自分がどのように受け止めたのかが分かるように具体的に書いている		(正答例) ・橋本さん、本日はありがとうございました。橋本さんのお話を伺って、メンバー全員で力を合わせて一つの作品を作り上げる書道パフォーマンスの魅力がよく分かりました。私たちも、力を合わせて学校行事などに取り組み、充実感を味わいたいです。 ・橋本さんの話をお聞きして、 ^③ a、b 度も練習をする大変さや、協力して作品を作り上げる楽しさを感じました。 ^④ 私も橋本さんのように、仲間と一緒に部活動を頑張っていきたいと思います。	
条件①	条件②	条件③	条件④
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

②			
四	三	二	一
4	4	【用例】 2	1
		【意味】 ウ	<input type="checkbox"/>
【解説】 「対応を誤れば『二度と来ない』ことになってしまいます」と「フロアをすれば、逆に常連さんに行けるチャンスがある」は、ともにクレームに対する店の対応とそれがもたらす客の反応であり、原因と結果の関係になっている。このことを踏まえ、「二度と来ない」という結果と「常連さんに行ける」という結果が「逆」の関係であることを捉える。 【解説】 「ア」コンクールで入選する」と「イ」コンクールで落選する」は一般には「両極」にあると考えることができ、図のように折り曲げて「対立軸」を見直すと、「ウ」物事に挑戦する」と「エ」物事に挑戦しない」の二極になるという見方ができる。			

【言葉の候補】

(正答例)

A ・私は「ほろほろ」の「小さく軽いものが、音もなく続けてこぼれ落ちる」という意味に着目しました。「ぼろぼろ」には「大粒の涙をこぼす」、「ぼろぼろ」には「一粒ずつ続けてこぼれ落ちる」などの意味がありますが、私は、卒業式の厳かな雰囲気の中で静かに涙を流す様子を表現したいので、「音もなく」という意味がある「ほろほろ」を選びました。

B ・音もなく涙を流す様子を表す「ほろほろ」や、一粒ずつ続けてこぼれ落ちる様子を表す「ぼろぼろ」ではなく、大粒の涙を流す様子を表す「ぼろぼろ」という言葉を選んだ。なぜなら、三年間ともに過ごした仲間たちと別れる悲しみの深さを、涙の大きさを表現したいからだ。

C ・私は「ぼろぼろ」という言葉だけにある「一粒ずつ続けてこぼれ落ちる」という意味に着目しました。私は、中学校生活のたくさんの出来事を一つずつ思い出している卒業生の心情をこの俳句で表現したいと考えました。

次の条件を満たして解答している

- ① AからCまでのいずれか一つの【言葉の候補】を選んで、その記号を塗り潰している
- ② 選んだ【言葉の候補】について、【辞典の記述】の中のどのような意味に着目したのかを、他の【言葉の候補】の意味との違いが分かるように書いている
- ③ 選んだ【言葉の候補】を用いることで、どのような情景や心情を表現できると考えたのかを、②で取り上げた意味を基に具体的に書いている

条件①

条件②

条件③

4			
三	二	一	
3	①	③	①
	よささうな	ふ	ふる
	よさそうな	いて	えて
			②
	②		したく
	ある		
	いる		

【解説】「浮遊している」のは「白い小さい」生きものである。